

平成29年第1回(3月)大郷町議会定例会一般質問通告書

目 録

1. 石垣 正博 議員
 - 1) 平成29年度の予算編成について
 - 2) まち・ひと・しごと創生総合戦略の現状は

2. 高橋 重信 議員
 - 1) 高崎団地の完成時期と総予算は
 - 2) 新工業用地(川内地区)の見通しは
 - 3) 次世代放射光施設誘致の手応えは

3. 佐藤 千加雄 議員
 - 1) 産業の振興について
 - 2) 移住定住の促進について

4. 赤間 茂幸 議員
 - 1) 社会体育の振興について

5. 赤間 滋 議員
 - 1) 町長選挙出馬の決意と施政方針をうけて

6. 石川 壽和 議員
 - 1) おおさと夏まつりについて
 - 2) ふるさと納税について
 - 3) 川内地区の新工業用地について

7. 千葉 勇治 議員
 - 1) 円滑な児童館運営をめざして
 - 2) 希望の丘と山中団地をつなぐ町道建設について
 - 3) 税金の自主申告に対する町の姿勢について

- 8) 大友 三男 議員
 - 1) 本町発注の公共事業入札の現状について伺う
 - 2) 大郷町小学校入学支援事業について

- 9) 和賀 直義 議員
 - 1) 「町民が安心して暮らせる健康なまち」の施策について
 - 2) 「教育のさらなる充実で心豊かなまち」の施策について

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 平成29年度の予算編成について</p> <p>自治体は単年度主義で、予算消化額に応じて次年度の予算額が決定される前年度実績主義に基づいて編成される。</p> <p>よって、予算を切り詰めるとか、不要・不急の事業を抑えるなどの、効率的な運用に向けた直接原因には結びつかないといわれている。</p> <p>税金を有効活用するという観点から、これらのことは見直すべきである。</p> <p>①今回の予算編成時において、以前と違った取り組みを入れたものがあるのか、やはり以前と変わらない編成方法だったのか。</p> <p>財政環境も変化していることから、それに合わせた手法を開拓し取り入れていくべきではないのか。</p> <p>②昨年の決算における議会・監査委員からの意見や要望は、どう次年度予算に生かされているか。</p> <p>③予算編成方針には、年度において実施する事務・事業の計画的な管理や、合理化や効率化をどのように進めていくのかについての方針は示されているか。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. まち・ひと・しごと創生総合戦略の現状は</p> <p>平成27年度を初年度とし、平成31年度を目標年次とする5カ年計画の戦略で策定。「大郷町」の人口ビジョンを踏まえ、将来に渡って活力ある地域を維持するための諸政策を掲げているが、現状の進捗状況はどうか。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 高崎団地の完成時期と総予算は。</p> <p>①測量、設計業務はいくらか。 ②造成工事費は。 ③町営住宅の戸数と建設費は。 ④住宅完成はいつか。 ⑤分譲宅地の販売額は。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 新工業用地（川内地区）の見通しは。</p> <p>造成工事費6億（2ヘクタール6,000坪）を投じて企業誘致は出来るのか。</p>	
<p>3. 次世代放射光施設誘致の手応えは。</p> <p>文部科学省科学技術・学術審議会の小委員会において、施設整備の必要性について議論が始まった。 本町は誘致運動へどのような取り組みをしているのか伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 産業の振興について</p> <p>1. 企業誘致の促進について 地域における安定した雇用を創出するために、様々な企業誘致の取り組みが行われてきたが、今年度の取り組みの成果と来年度における取り組みについて伺う。</p> <p>①企業立地セミナーについて ②工業団地の造成について ③新たな取り組みについて</p> <p>2. 商業の振興について 総合計画の基本方針に商業者・商工会・消費者などの意見を集約し、既存の商店を活性化させ、商業基盤の強化を図るとあるが、今年度の成果と来年度の取り組みについて伺う。</p> <p>①割増商品券について ②今後の具体的な取り組みについて</p> <p>3. 観光の振興について 総合計画の基本方針に、町民・企業・行政が一体となった観光産業推進体制を確立し、町内に点在する観光資源の見直しと周辺整備を図り、町内外への観光情報の発信等に努めるとあるが、今年度の取り組みの成果と来年度に向けた基本的な計画について伺う。</p> <p>①物産館について ②縁の郷について ③基本的な計画について</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 移住定住の促進について</p> <p>移住定住の促進等で新しい人の流れをつくり、持続的に発展する町を創るために、「まちづくり推進課」が新設され、移住定住促進の現在までの成果と来年度の取り組みの計画を伺う。</p> <p>①空き家バンクについて ②住宅取得支援事業について ③子育て世代家賃助成制度について ④地域おこし協力隊受入事業について</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 社会体育の振興について</p> <p>1. 児童生徒の体力向上は</p> <p>①最近、児童生徒の体格は向上しているが体力が向上していないとよく言われるが、本町の児童生徒の体格は、県平均あるいは全国平均と比較してどのような状態になっているのか伺う。</p> <p>②最近の体力テストの結果から小中学生の体力低下が著しく、持久力は全国平均を上回っているものの、筋力・瞬発力・敏捷性は宮城県平均を下回る状態にあり、現在小学生を対象として「陸上クリニック」「ハンドボール教室」を実施しているがその成果は。</p> <p>③運動不足や身体の鍛錬の仕方にも問題があると考え。危険な競技等は先生方や父兄が最近では敬遠し実施しないということもあり、自分の可能性の限界に挑み、かつ克服しようとする意欲に欠けるので、体力が向上しないとする見方もある。小中学校における体育の授業面に問題はないのか、あるとすればその対策をどのように考えているのか。</p> <p>2. 生涯スポーツの充実</p> <p>町民が、スポーツを楽しみながら、生涯健康で生きがいの持てる生活が送れるよう、誰もが参加できる事業の展開と、継続して活動できる体制の実現に努めるとある。</p> <p>次の点について伺う。</p> <p>①町民参加型のスポーツ大会の実施について 今年度の大会の実施状況と参加者数は。</p> <p>②年間を通しての各種スポーツ教室の実施について 今年度のスポーツ教室の実施状況と参加者数は。</p> <p>③町体育協会・スポーツ少年団活動への支援と連携強化について 今年度の連携事業の実施状況と参加者数は。</p> <p>④生涯スポーツ指導員の育成強化について 今年度の生涯スポーツ指導員の育成状況と参加者数と合格者は。</p> <p>⑤ニュースポーツの普及と継続的支援について ニュースポーツの普及状況と参加者数は。</p> <p>⑥町スポーツ施設の整備と活用促進について 町スポーツ施設の整備状況と活用状況は。また利用者数は。</p>	<p>一問一答方式</p>

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 町長選挙出馬の決意と施政方針をうけて</p> <p>1. 赤間町長は、平成 21 年 9 月の町長就任以来、今日まで 7 年 7 カ月余の間、町政を担ってこられました。昨年の 12 月定例議会において、今年の夏に予定されております次期町長選への出馬の意向であることを明言・表明されました。そこで 3 選出馬にあたっての決意と町民へのメッセージについて質問をいたします。</p> <p>①前回選挙のマニフェストに掲げた 4 つの柱である「産業振興で活力ある大郷」「教育の充実で心豊かな大郷」「町民が安心して暮らせる健康な大郷」「協働のまちづくり持続的に発展する大郷」それらの進捗状況について。</p> <p>②赤間町長のこれまでの実績と反省を踏まえ、今後の大郷町の重点課題解消のためにはどのような具体的施策、事業が必要とお考えか。</p> <p>③赤間町長だからこそできる町政のかじ取りについての決意を伺う。</p> <p>2. 赤間町長に与えられた任期もあと残すところ 5 カ月余となったが、そこで、新年度の施政方針をうけて次のことを伺う。</p> <p>①新年度に重点的に取り組む施策はどのようなものか。</p> <p>②昨年新設のまちづくり推進課の実績と今後の取り組みは。</p> <p>③高齢者の見守りに関して郵便局や農協と締結できないか。</p> <p>④高齢者、障害者等に電動カート補助金制度を創設できないか。</p> <p>以上 7 項目について質問いたします。</p>	<p>一問一答方式</p>

通 告 要 旨	備 考
<p>1. おおさと夏まつりについて</p> <p>今年も催される夏まつりだが、先般ある会合で、開催場所を固定化せず、町内数箇所を回る形にしてはどうかという意見と、シャトルバスの運行が提案されたようだが、どのような返答をしたのか、また現在どんな考えをもっているか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. ふるさと納税について</p> <p>昨年末、期限内納税ということもあり、駆け込みで、かなりの額が納税されたと聞いているが、結果と、新たな取り組みはあるのか伺う。</p>	
<p>3. 川内地区の新工業用地について</p> <p>この土地について、昨年6月3日の全員協議会で、5月22日候補地所有者から売却同意書をいただいた旨の報告を受けたが、12月22日の企業誘致に関する調査特別委員会で、町長はその後内部で検討した結果、工事費が多額になるため整備方法、区画等について検討中であると報告されたが、今後どのようにするつもりなのか伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 円滑な児童館運営をめざして</p> <p>委託先と交わした「児童館運営に係る実施計画書」と町の役割について伺う。</p> <p>①子どもと子どもにかかわる大人のためにいつでも気軽に立ち寄ることのできる居場所として、子ども自身の成長や親同士の交流を促進する地域の拠点施設と位置付けているが、その具体的な取り組みと町の果たす役割について。</p> <p>②公平利用を原則として委託先は、配慮児童の希望者全員を受け入れるために努力し、障害を持つ子どもの居場所を提供するという方針を示している。その具体的な取り組み内容とそのことに対する町の対応について。</p> <p>③危機管理体制の一環として、地震・火災・緊急時の「災害マニュアル」内容と、これまでの取り組み状況は。</p> <p>④苦情解決の仕組みについて、第三者委員会の設置、意見箱の設置、保護者からのアンケートなどに取り組み、その解決に当たるといふ姿勢を高く評価するものだが、委託先任せでなく、町も一緒になって取り組むべき課題と考えるが所見を伺う。</p> <p>⑤児童館運営の委託契約の中で「大郷町放課後子ども教室」に関してはどうなっているのか。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 希望の丘と山中団地をつなぐ町道建設について</p> <p>町道を必要とする通行者数等の調査結果の詳細にわたる根拠と、直近における財源計画について示されたい。</p>	
<p>3. 税金の自主申告に対する町の姿勢について</p> <p>①税の確定申告について、直接北税務署に申告する方、インターネットで申告される方、郵送申告をする方等が増加傾向にあるが、税務署に直接でなく、町の税務相談を通じて申告するように、町の税務課から指導されたという話を聞く機会が多い。どのような考えに基づき国の指導に相反するような指導をしているのか伺う。</p> <p>②町税務課の税相談員による計算間違いが散見される。税計算の研修状況と、町の計算指導の誤りにより間違いが明らかになっ</p>	

た場合の対応策について伺う。

- ③自主申告制度に基づき税務署に提出した確定申告者に対し、申告後に町はその申告者に対し、税務課名で書類等の提出を求められている。どのような権限でそれらの行為がなされているのか明らかにされたい。

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 本町発注の公共事業入札の現状について伺う</p> <p>①現在話題になっている東京都発注公共事業の中で、豊洲市場関係工事の落札率 99 パーセントに対し、疑念を抱いた報道や、県内では、昨年 12 月 26 日の河北新報に「暗黙の了解」深い闇という見出しで、「一般的に談合の疑いが濃いとされている 95 パーセント以上の落札率が多発している。」という亘理町の官製談合事件が記事になっていた。</p> <p>このような中で、平成 28 年 8 月 22 日から平成 29 年 1 月 26 日までの、本町発注公共工事の入札件数は 32 事業であり、この中で予定価格に対しての落札率 100 パーセントの事業が 5 事業、さらに落札率 95 パーセントから 99 パーセントの事業は 16 事業、合わせると 32 事業中 21 事業もあり、32 事業平均落札率を見ても 97.07 パーセントとなっているようである。このように本町公共事業は落札率が高く、町民の方々から正常な競争入札が行われていないのではないかという声が出ているが、執行部としてどのようにお考えなのか伺う。</p> <p>②平成 26 年住民バス指定管理選考入札参加業者（有）アスカ観光バス、（有）朝日観光バスの二社で朝日観光バスが直前辞退、平成 28 年 6 月 15 日児童館建設工事入札参加業者、（株）橋本店、大和ハウス工業（株）の二社だけで、大和ハウス工業が入札 2 日前に突然辞退するなど、どちらも直前に辞退し一社だけの入札となっている。</p> <p>この他にも、昨年 12 月 20 日、住民バス新車購入車両入札においては、最初から日野、トヨタの二種を念頭にということで、宮城日野自動車株式会社、宮城トヨタ自動車株式会社大和店、三菱ふそうトラック・バス株式会社仙台支店、日通商事株式会社、株式会社日産サテオ宮城の、5 社指名での競争入札を行った結果、三菱ふそうは時間になっても入札会場に来ないということで失格処分。宮城トヨタは入札参加に必要な書類を持参しないため失格処分になり、日通商事と日産サテオ宮城は事前辞退し、最終的には、宮城日野自動車一社のみでの入札になるなど、ほとんど競争原理が働かない状況で入札が執行されていると思われる。</p> <p>本町の公共事業入札にあたり、なぜ入札辞退などが続くのか、本町の公共事業入札に対し参加しにくい、問題があるのではないかと思うが、どのようにお考えなのか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>

③平成 29 年度から平成 33 年度まで 5 年契約委託料約 4 億円の、小中学校スクールバス運行委託業者選考にあたり、入札執行部は、一般競争入札ではなく、なぜ競争見積方式による随意契約という方式を採用したのか。

前回平成 24 年当時スクールバス運行委託業者選考は、5 社指名による一般競争入札を行っていたが、今回なぜ、今の時代の流れに逆行する方法で、法違反のあったアスカ観光バスを選考したのか。

さらに、このようなバス会社を使うことで、子ども達の安全安心が確保できるといえるのか、町長並びに入札執行責任者の副町長、教育長はどのようにお考えなのか伺う。

2. 大郷小学校入学支援事業について

①平成 28 年 3 月定例議会で 4 月 1 日から幼稚園、小学校、中学校合わせて 177 名、それぞれの新入園、新入学時にあたり運動着や上靴など合計約 280 万円を予算化して、他の自治体に無いような子育て支援の一環としてプレゼントしてはどうかと質問したところ、町長は全く考えていないと答弁していたが、町長の子ども達を大事に育てたいという考えのもと、本年 4 月小学校新入学児童から運動着の支援事業を始める予定になっているが、さらに幼稚園新入園、中学校新入学の子ども達まで支援事業の拡充を図っていただけないかと思うが、今後どのようにお考えなのか伺う。

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 「町民が安心して暮らせる健康なまち」の施策について</p> <p>①重点とする施策と課題は。 ②検診の自己負担軽減を図るとしているが具体的には。 ③健康寿命のさらなる延伸を目指すがあるが、その取り組みは。 ④人にやさしいまちづくりとして、中学校、道の駅、公園のトイレの洋式化の計画は。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 「教育のさらなる充実で心豊かなまち」の施策について</p> <p>学力向上、国際性に富んだ児童生徒の育成に努めるなど、幅広い教育行政の推進をうたっている。</p> <p>①学力向上対策の目標と具体的な推進はどうするのか。 ②外国語教育、国際理解の充実、幼稚園の英会話及びコミュニケーション能力の育成をかかげている。具体的にどのような検討がされているのか。 ③幼稚園の3歳児教育を31年度から実施としているが、その課題と対策は。 ④生徒数が少ないため部活数が少なく、好きなスポーツに取り組めないとの声を聴く。広域な学校連携、地域の協働での対策等どのような検討がされているのか。</p>	